

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12番18号		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室)、会議室(1室)、控室等(13室)、駐車場(平日381台/土日祝日448台)等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1～R 8.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4期目	H28.4.1～R 3.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減(達成率)
	5期	R6	43.0%	42.0%	△0.9ポイント	△1.0ポイント(97.7%)
		R5	40.0%	42.9%	3.8ポイント	2.9ポイント(107.3%)
		R4	28.0%	39.1%	11.9ポイント	11.1ポイント(139.6%)
		R3	22.0%	27.2%	△18.8ポイント	5.2ポイント(123.6%)
	4期平均 H28～R2		49.8%	46.0%	△0.8ポイント	△3.8ポイント(92.4%)
	3期平均 H23～H27		45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント(104.0%)
	2期平均 H20～H22		43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント(92.2%)
	1期平均 H17～H19		—	46.7%	5.7ポイント	—
	H16(導入前)		—	41.0%	—	—
増減理由	大規模催事のキャンセルがあったものの、利用者へのきめ細かな対応等によりリピーターを確保し、面積稼働率は前年度からほぼ横ばいとなっており、コロナ禍後の回復傾向が続いている。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】
	1 催事主催者アンケート(利用満足度等調査)		79件回収(244件のうち回収率32.4%)
	2 利用者アンケート(イベント内容等に係る調査)		1,004件回収(1,000件の目標を達成)
	【主な意見】		【その対応状況】
	1 催事者アンケート ① スタッフ対応 満足 95.0%(R5 91.9%) ② 施設・設備 満足 86.0%(R5 74.4%) ③ 開催目的の成果 満足 73.0%(R5 52.3%) ④ 今後の利用意向 したい 93.0%(R5 93.0%)		①利用者へのきめ細かな対応により、リピーターを確保。 ②駐車場精算機の更新や西館サイネージの取り替えなど、施設に対する満足度向上のための取り組みを強化。 ③・④催事者のコロナ禍後のマインドが回復傾向にある一方で、集客数の伸び悩みもあることから、イベント情報の効果的なPR、展示場の特別割引等の実施を強化。
	2 来場者が希望する催事内容 【第1位】消費者向け展示販売、【第2位】趣味・娯楽、【第3位】子供向けイベント		今後の集客数増に繋げる営業活動や自主事業の検討材料とする。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報(必要随時)	○	必要時に随時電話及びメールで報告
管理運営会議(随時)		【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築50年以上、西展示館は築30年以上を経過し、老朽化が著しいことから、修繕の規模や目的等に応じて、県と役割分担して対応する。	
現地調査(随時)		【県の対応】 長期保全計画を基本に、施設の実態を踏まえた上で安全面や利用者の利便性を優先して修繕等を実施する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	
	5 期	R6	9, 252	4, 234		5 期	R6	279, 331	△10, 030	
		R5	5, 018	△5, 207			5 期	R5	289, 361	24, 326
		R4	10, 225	10, 225				R4	265, 035	83, 395
		R3	—	△11, 129				R3	181, 640	△117, 595
	4 期平均 H28～R2		10, 129	11, 129		4 期平均 H28～R2		299, 235	△14, 382	
	3 期平均 H23～H27		—	—		3 期平均 H23～H27		313, 617	57, 552	
	2 期平均 H20～H22		—	—		2 期平均 H20～H22		256, 065	△43, 297	
	1 期平均 H17～H19		—	—		1 期平均 H17～H19		299, 362	62, 242	
	H16（導入前）		—	—		H16（導入前）		237, 120	—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委 託 事 業	収 入	県委託料	9, 252	5, 018	4, 234	電気料金単価の増による委託料の増
		料金収入	279, 331	289, 361	△10, 030	利用料金制（※１） 大規模催事のキャンセル等による減
		その他収入	2, 521	5, 171	△2, 650	修繕費補償金の減
		計(A)	291, 104	299, 550	△8, 446	
	支 出	人 件 費	32, 882	37, 053	△4, 171	プロパー職員１名の減
		光熱水費	35, 223	33, 558	1, 665	電気料金単価の増
		設備等保守点検費	9, 196	8, 414	782	人件費上昇に伴う委託料の増
		清掃・警備費等	69, 649	69, 336	313	人件費上昇の伴う委託料の増
		施設維持修繕費	16, 031	16, 236	△205	修繕単価の減
		事務局費	33, 302	35, 166	△1, 864	H P リニューアルに伴う事務局費の減
		その他	14, 982	13, 902	1, 080	消費税の増
		計(B)	211, 265	213, 665	△2, 400	
	収支①(A-B)	79, 839	85, 885	△6, 046		
自 主 事 業 (※2)	収 入(C)	—	—	—		
	支 出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		79, 839	85, 885	△6, 046	変動納付金 79, 839 千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送局で2か月に一度催事主催者等の参加によるイベントのPRを行うとともに、毎月発行している地域の生活情報を提供するフリーペーパーを活用し、広島産業会館のイベントをPRした。	コミュニティFMやフリーペーパー等、地域に根差した広報活動を行うとともに、HPの刷新をおこない、外部への積極的な情報発信を図っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上		施設の老朽化に伴う設備更新に加え、利用者の利便性向上のための改修を行い、満足度の向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	「広島BOX～メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGEデザインギャラリー」において、県内製品等の展示等を行うとともに、「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。	
	○施設の維持管理	自動ドアモーター装置取替え、空調設備改修など老朽化した施設の機能維持に努めたほか、駐車場精算機の機能向上やデジタルサイネージの設置など施設の利便性向上に取り組んだ。	
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	施設管理経験が豊富な職員を配置し、営業活動や管理運営を円滑に行える組織体制を構築している。	効果的かつ安定的な業務運営を行うために必要な組織体制及び執行体制が構築されている。
	○効率的な業務運営	不測の事態に備え、原則として館長もしくは課長が常駐する執行体制や、職員間の緊急連絡網を構築している。	リピーターの確保のほか、物価高の中で利用者サービスの低下を招かないよう、施設の利便性向上等に取り組み、収益の確保につなげている。
	○収支の適正	利用者へのきめ細かな対応等によるリピーターの確保のほか、光熱水費などの物価高の中で、利用者サービスの低下を招かないよう施設の機能維持や利便性向上に取り組んでいる。	
総 括		大規模催事のキャンセルがあったものの、リピーターの確保に努めた結果、前年度からほぼ横ばいの面積稼働率を確保した。これに伴い、収支は黒字となり、79,839千円を県に納付することができた。	前年度並みの面積稼働率を確保し、コロナ禍後の回復傾向を維持するとともに、物価高の中で利用者サービスの低下を招かないよう施設の利便性向上等に取り組んでおり、適切な管理運営を行っている。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加に対しては、国・県の方針を踏まえつつ、収支予測を行った上で、適切に対応する。 ○ 老朽化した施設の機能維持や修繕など、利用者の要望が多い設備については、収支状況を見極めながら、適宜・適切な更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る。	○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加に対しては、国の動向を注視しつつ、指定管理者と連携し、適切に対応する。 ○ 利用促進及び計画的かつ効果的な修繕に向けて県と指定管理者で連携して進めていく。
中期的な対応	○ 面積稼働率が全盛期（H30）の8割弱に止まっていることから、継続的な営業活動を行う必要がある。 ○ 国家試験や資格試験など好不況の波に左右されない催事やアフターコロナで賑わいを取り戻しつつあるファミリー向け大型イベントの誘致を行い、継続的な利用に繋げる。 ○ DXの成功事例の紹介など、地域企業の課題解決に向けたタイムリーなテーマで開催される新たな展示会・セミナー等の誘致を検討する。	利用者の利便性及び施設の魅力向上により展示場の利用促進を図るため、指定管理者の取り組みをサポートしていく。